



中泊町立中里中学校 岩淵 圭子

道徳に関わる主題



生徒一人一人が、道徳的諸価値についての理解を基に、**自己を見つめ**、物事を**多面的・多角的に考え**、人間としての**生き方についての考えを深める**ための道徳科の指導と学習評価の工夫・改善

発表の流れ



- 1 中里中の取組
- 2 授業の様子
- 3 評価の実際

1 中里中の取組①



・年間指導計画をもとに**各学年の重点目標**を大切にしながら、(基本的に)学級担任が授業を行う。

例：1学年

- 「自立して生きる力」を身につけるために
A(1)自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつ生徒。
- 「共に生きる力」を身につけるために
B(6)感謝と思いやりの心をもって人と接し、人間愛の精神を深める生徒。

【教育目標】

自立して生きる力
共に生きる力

例：3学年

- 「自立して生きる力」を身につけるために
A(4)より高い目標を設定し、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げる生徒。
- 「共に生きる力」を身につけるために
B(9)それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方・考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学ぶ生徒。

2年：白ご飯を目指して

2 授業の様子～展開～



・「学び合う活動」の重視



タフレット



ロールフレイ

「学び合う活動」の5か条

- ① 聴く
しっかり聴いて心をつなごう。相手を大切にしよう！
- ② 話す
間違いを恐れず、自分の言葉で話そう！
- ③ 比べる
話して、聴いて、同じ部分・違う部分を比べよう！
- ④ 認める
お互いに認め合い、共感し、わかり合おう！
- ⑤ 創り出す
違いや多様性をもとに、新しい考えを生みだそう！

2 授業の様子～展開～



・グループで



ペアで意見交換



まなボード

隣の人が書いていることを共有することで、考えの幅を広げる。自分の考え以外にも触れることで、新しいことに気がつくきっかけになる。同じ内容でも、選んだ理由が違うことに気がつくきっかけになる。発表する前の自信づけにつながる。

3～4人で意見交換することで、別の角度からの意見を吸収できる。意見をまとめる力や発表する力も身につく。

2 授業の様子～展開～



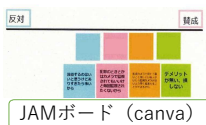
・グループで



プレスト（付箋）

自分の考えを持ち寄ってどんどん意見を出すことで、活発な話し合いができる。

1年生
『いじめに当たるのはどれだろう』



JAMボード（canva）

対比させるような教材のときや多くの意見を引き出すとき、自他の考えを視覚的にとらえることができる。理由も貼りっぱなしなので、全体での共有のときも便利。

2年生
『住みよい社会に』

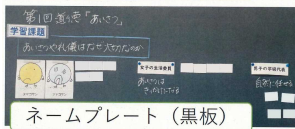
2 授業の様子～展開～



・一斉で



心情円（ロイロノート）



ネームプレート（黒板）

2年生
『左手でつかんだ音楽』

クラス全員分の考えを一気に見ることができる。違う考えの人の意見を聞くことで、多角的な学びができる。同じ考えであっても理由が違う場合には、深く学ぶことができる。心情円では、登場人物の心の変化が視覚的にわかりやすい。

1年生
『あいさつ』

2 授業の様子～展開～



・一斉で



動画視聴

導入・展開・振り返りの前など、効果的な場面で5分程度視聴する。見ることで伝わる迫力や心情や感動がある。



注文を間違える料理店

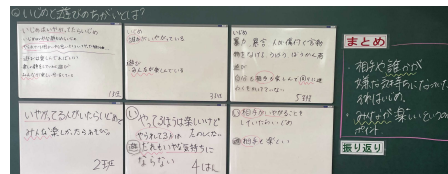


左手でつかんだ音楽



書道パフォーマンスの挑戦

2 授業の様子～まとめ～

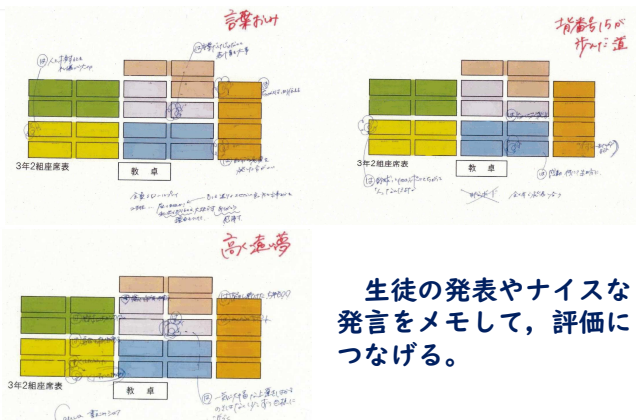


みんなが発表したまなボードを使って、考えをまとめたり振り返ったりする。



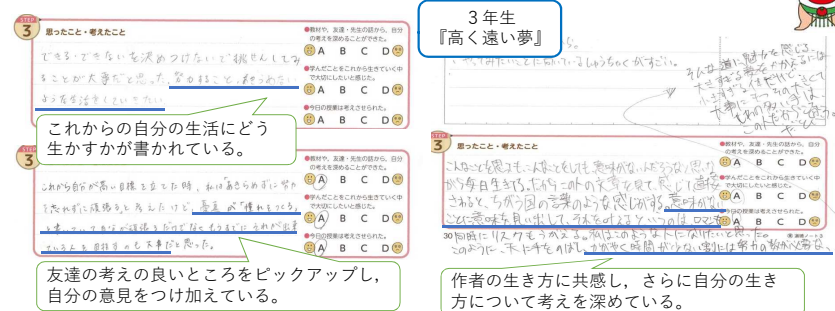
振り返りをワークシートやノートに記入し、共有して称賛する。

3 評価の実際～座席表にメモ～



生徒の発表やナイスな発言をメモして、評価につなげる。

3 評価の実際～生徒のノートから～



普段からたくさん振り返りを書いている生徒(4～5人)の振り返りが、教師側の授業の評価にもつながる。あまり深くないときは、自分の授業を反省し、次回につなげている。

作者の生き方に共感し、さらに自分の生き方について考えを深めている。

3 評価の実際～生徒のノートから～



・特別な配慮を必要とする生徒の場合

3 思ったこと・考えたこと

ちやんすこてん

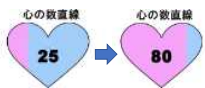
●教材や、友達・先生の話から、自分の考えを導き出すことができる。

●学んだことをこれから生きていく中で実際に生かすことができる。

●今日の授業は楽しかった。

授業中に進んで発表することも難しいし、登場人物の気持ちを考えたり、自分の考えや感じたことを文章にしたりするのも難しい。

心情円を使う授業のときに評価する



理由はうまく言えないけれど、主人公の気持ちの変化には気づく。

全校道徳で評価する



そばに行って補助発問をし、考えを引き出す。

ご清聴ありがとうございました



令和6年度 青森県中学校教育課程研究集会 【道徳科部会】

西北教育事務所 教育課
指導主事 廣森吉明

内容

- 1 中里中学校の取組について
- 2 学習指導要領（研究主題）と関連して
- 3 参考

Ⅰ 中里中学校の取組について



- ・教育目標との関連 「自立して生きる力 共に生きる力」

- ・生徒の発達段階を考慮した学年重点目標

1学年	2学年	3学年
A1 自主、自立、自由と責任 B6 思いやり、感謝	A3 向上心、個性の伸長 B8 友情、信頼	A4 希望と勇氣、克己と強意志 B9 相互理解、寛容

- ・学級担任以外の先生も関わる道徳～全校道徳、授業者の得意分野を生かした道徳（学習指導要領 第3章 第3の2）

Ⅰ 中里中学校の取組について



授業の改善及び工夫～道徳教育推進教師を中心として

- (1) 校内研において研修内容の共有
- (2) ICTの効果的な活用
- (3) 学習形態の工夫



Ⅰ 中里中学校の取組について



生徒の実態把握と学級経営の充実

Ⅰ 多様な意見を受け止め、認め合える雰囲気をつくる

- ・考えを伝え合うことの大切さの理解
- ・共に学ぼうとする教師の姿勢



Ⅱ 教師が指導の明確な意図をもって指導することで、生徒に新たな気づきや変容がある



- ・ねらいとする道徳的価値を教師が理解
- ・道徳的価値に対する生徒の課題を掴む
- ・何を考えさせ、何に気付かせたいのか

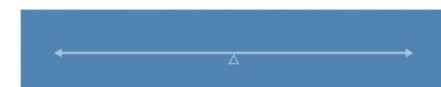


Ⅰ 中里中学校の取組について



取組の結果として優れている点

- ① ねらいに向かって生徒が主体的に学べるよう、生徒の思いに寄り添い、授業展開を整理して進めている。
- ② 教師が考えてほしいことを教師のタイミングで提示するのではなく、考えていきたいことに向かって生徒からの言葉を有効活用し、展開することができている。



1 中里中学校の取組について



生徒のようす

- ① 教師の発達支持的な支援により、教師と生徒の良好な人間関係が形成されている。
- ② 全校道徳ができるほどの安心感のある授業が実践できている。
- ③ 落ち着きのある様子で授業に取り組む環境が整っている。
- ④ 発問に対しての教師への回答、生徒同士の意見交流が自然と行える。

2 学習指導要領（研究主題）と関連して



生徒一人一人が、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え人間としての生き方についての考えを深めること

令和6年度中学校教育課程研究集会研究主題



道徳科で求められている「主体的・対話的で深い学び」のある「考え、議論する道徳」となっているか

2 学習指導要領（研究主題）と関連して



道徳科の目標

第1章総則の第1の2の（2）に示す道徳教育の目標に基づき、**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため**、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。**

「中学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳」



生徒の実態から、本時の授業では、道徳性を構成する諸様相の中でも、**どの様相に焦点を当てて指導をするのか**を考える。

出典 令和4年度道徳教育推進研修（第2回）より

2 学習指導要領（研究主題）と関連して



道徳科の**評価**の基本的態度

- 道徳科は、道徳教育の目標に基づき、各教科、（外国語活動）、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によって**道徳性を養うことがねらい**である。
- 道徳性とは、人間としてよりよく生きようとする人格の特性であり道徳的判断力、道徳的心情、道徳の実践意欲及び態度を諸様相とする内面的資質である。このような道徳性が養われたか否かは、**容易に判断できるものではない**。
- しかし、道徳性を養うことを学習活動として行う道徳科の指導では、その**学習状況**や**成長の様子**を適切に把握し、**評価することが求められる**。

「中学校学習指導要領 第5章 第2節 道徳科における生徒の学習状況及び成長の様子についての評価」

2 学習指導要領（研究主題）と関連して



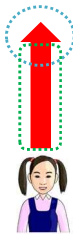
道徳科における評価

成長を受け止めて認め、励ます**個人内評価**

道徳的価値の理解を基に、道徳性の様相を育てること

評価規準はなく、達成度は評価できない

道徳科の授業のねらい



評価するのは児童生徒の**学びの姿**

出典 令和4年度
道徳教育推進研修
(第2回) より

3 参考（多様な指導方法の例）



体験的な活動を取り入れた道徳科の授業

問題点

恥ずかしい・照れくさいなどの抵抗感
騒々しく落ち着かない授業になりそうという懸念
体験的な活動を取り入れるメリットへの疑念

取り入れることで
自分事として考える取っかかりになる

自己を見つめ、自己との関わりで考えを深めるきっかけになる



・学級の支持的風土づくり ・演技する前にねらいを十分に伝えること

問題解決的な学習につながる

3 参考



教師の授業に対する評価の基本的な考え方

- ア** 学習指導過程は、道徳科の特質を生かし、道徳的諸価値の理解を基に自己を見つめ、人間としての生き方について考えを深められるよう適切に構成されていたか。また、指導の手立てはねらいに即した適切なものとなっていたか。
- イ** 発問は、生徒が広い視野から多面的・多角的に考えることができる問い、道徳的価値を自分のこととして捉えることができる問いなど、指導の意図に基づいて的確になされていたか。
- ウ** 生徒の発言を傾聴して受け止め、発問に対する生徒の発言などの反応を、適切に指導に生かしていたか。
- エ** 自分自身との関わりで、物事を広い視野から多面的・多角的に考えさせるための、教材や教具の活用は適切であったか。
- オ** ねらいとする道徳的価値についての理解を深めるための指導方法は、生徒の実態や発達の段階にふさわしいものであったか。
- カ** 特に配慮を要する生徒に適切に対応していたか。

中学校学習指導要領解説 第5章 道徳科の評価 第3節 道徳科の授業に対する評価

3 参考



道徳科における**評価**の意義

観点

教師



教師が指導の目標や計画、指導方法の改善・充実に取り組むための資料となるもの

児童生徒

視点

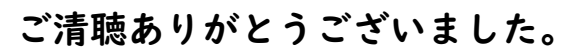
自らの成長を実感し意欲の向上につなげていくもの



指導に生かされ、児童生徒の成長につながる評価でなくてはならない。

指導と評価の一体化

出典 令和4年度
道徳教育推進研修
(第2回) より



ご清聴ありがとうございました。